

3. 履修モデルプラン

望ましい履修学年と具体的な履修カリキュラム【中・高 一種・英語】

◀ 左頁の「施行規則に定める科目区分」の表を見ながら確認

履修年次		具体的な科目名称				望ましい 学年	教科及び教科の指 導法に関する科目 【必修】	望ましい 学年	教科に関する 専門的事項 【大学が独自に 定める科目】 ★任意必修科目あり	望ましい 学年	施行規則第66条 の6に関する科目	その他教職課程に 関連のある科目
年次	時期	免許法施行規則に定める科目 区分	対象学年	科目名称								
1年次	前期	教育の基礎的 理解に関する 科目	教育の理念及び教 育に関する歴史及び 思想	1年	教育原理	【重要】※この学年で履修可能な 「教科に関する科目（教職科目と しての）」は非常に少ない為、卒 業要件である単位の積み上げを固 りつつ、「免許法施行規則第66条 の6に定める科目」【教職に関す る科目】を全て履修して下さい。 次年度以降に持ち越しを考えない 事を前提で履修すること。又、1年次に 履修可能な「大学が独自に定める科 目」で履修可能な科目は出来る限り この年次に履修しておいてくださ い。上位学年進級毎に有利となり ます。	}	}	1～2年	日本国憲法	学校インターンシップ 体験予定者は教職課程 センターで話を聞き、 過去に体験した先輩より アドバースを受ける ことを推奨します。 (2年次より受付開始)	
		連携、総合的な 学習の時間等の 指導法及び生徒 指導、教育相談 等に関する科目	総合的な学習の時間 の指導法	1～2年	特別活動の指導法(総合的 な学習の時間を含む)				1年	健康の科学		
	教育の基礎的 理解に関する 科目	教職の意義及び教員 の役割、職務内容 (チーム学校運営へ の対応を含む)	1～2年	教職論(チーム学校への 対応を含む)	1年				Communicative English 1-a			
	教育の基礎的 理解に関する 科目	幼児、児童及び生徒 の身の発達及び学習 の過程	1～2年	教育心理学	1～4年				スポーツ/レクリエーション			
後期	連携、総合的な 学習の時間等の 指導法及び生徒 指導、教育相談 等に関する科目	生徒指導論(進路指 導を含む)	1～2年	生徒指導論(進路指導 を含む)	1年	情報処理演習 1-a						
	教育の基礎的 理解に関する 科目	教育課程の意義及び 編成の仕方並びに キャリア・学習シス テムを含む	1～2年	教育課程論	1年	情報処理演習 1-b						
2年次	前期	教育の基礎的 理解に関する 科目	教育課程の意義及び 編成の仕方並びに キャリア・学習シス テムを含む	1～2年	教育課程論	2年	●英語学a	2年	Screen English a	学校インターンシップ 体験【体験資格は英検 2級以上】 ※推奨年次ですが、この 学年での「教科及び教科 の指導法に関する科目」と 「大学が独自に定める 科目」(※期に記号のない 科目)の最大履修数が 今後の進捗における重 要なポイントとなり ますので、履修科目登録 後で特定科目に空きがあ る等の確定的なスケ ジュールの1、計画・担 当してください(★異文 化理解科目は最低2科目4 単位以上が必修扱いで す。履修方法に制約があ るので、左頁を要確認)		
		教育の基礎的 理解に関する 科目	教育課程の意義及び 編成の仕方並びに キャリア・学習シス テムを含む	1～2年	教育課程論	2年	●イギリス文学a	2年	★アメリカ文化論a			
		教育の基礎的 理解に関する 科目	教育課程の意義及び 編成の仕方並びに キャリア・学習シス テムを含む	1～2年	教育課程論	2年	●英語学b	2年	★イギリス文化論a			
	教育の基礎的 理解に関する 科目	教育的、制度的または経 済的事項	1～2年	教育行政学	2年	●イギリス文学b	2年	★American Government a				
	教育の基礎的 理解に関する 科目	教育的、制度的または経 済的事項	1～2年	教育行政学	2年	●イギリス文学b	2年	★American Government b				
	教育の基礎的 理解に関する 科目	教育的、制度的または経 済的事項	1～2年	教育行政学	2年	●イギリス文学b	2年	★American Government b				
後期	教育の基礎的 理解に関する 科目	特別の支援を必要と する幼児、児童及び 生徒に対する理解	2～3年	特別支援教育	2年	2年	★アメリカ文化論b	2年	★イギリス文化論b			
	教育の基礎的 理解に関する 科目	特別の支援を必要と する幼児、児童及び 生徒に対する理解	2～3年	特別支援教育	2年	2年	★アメリカ文化論b	2年	★イギリス文化論b			
	教育の基礎的 理解に関する 科目	特別の支援を必要と する幼児、児童及び 生徒に対する理解	2～3年	特別支援教育	2年	2年	★アメリカ文化論b	2年	★イギリス文化論b			
3年次	前期	教科及び教科の 指導法に関する 科目	各教科の指導法(情 報機器及び教材の活 用を含む)	3年	英語科教育法Ⅰ	3年	●アメリカ文学a	3年	英語史a	学校インターンシップ (体験推奨学年)		
		教育実践に関 する科目	教育実習	3年	教育実習の指導	3年	●アメリカ文学a	3年	英語学声学・音韻論a			
		教育実践に関 する科目	教育実習	3年	教育実習の指導	3年	●アメリカ文学b	3年	英語史b			
	教科及び教科の 指導法に関する 科目	各教科の指導法(情 報機器及び教材の活 用を含む)	3年	英語科教育法Ⅱ	3年	●Oral Communication I -b	3年	英語学声学・音韻論b				
	教育実践に関 する科目	教育実習	3年	教育実習の指導	3年	●Oral Communication I -b	3年	英語学声学・音韻論b				
	教育実践に関 する科目	教育実習	3年	教育実習の指導	3年	●Oral Communication I -b	3年	英語学声学・音韻論b				
後期	教科及び教科の 指導法に関する 科目	各教科の指導法(情 報機器及び教材の活 用を含む)	3年	英語科教育法Ⅲ	3年	●Oral Communication I -b	3年	英語学声学・音韻論b				
	教育実践に関 する科目	教育実習	3年	教育実習の指導	3年	●Oral Communication I -b	3年	英語学声学・音韻論b				
	教育実践に関 する科目	教育実習	3年	教育実習の指導	3年	●Oral Communication I -b	3年	英語学声学・音韻論b				
4年次	前期	教育実践に関 する科目	教育実習	4年	教育実習Ⅰ・Ⅱ	4年	●Oral Communication II -a			学校インターンシップ (教員採用試験以後推奨)		
		教科及び教科の 指導法に関する 科目	各教科の指導法(情 報機器及び教材の活 用を含む)	4年	英語科教育法Ⅳ	4年	●Oral Communication II -a					
	教育実践に関 する科目	教育実習	4年	教育実習Ⅰ・Ⅱ	4年	●Oral Communication II -a						
	教育実践に関 する科目	教育実習	4年	教育実習Ⅰ・Ⅱ	4年	●Oral Communication II -a						
後期	教育実践に関 する科目	教育実習	4年	教育実習Ⅰ・Ⅱ	4年	●Oral Communication II -b						

※○～○年と表記されている科目ですが、履修を早めにしておくことで、多忙になる3～4年次の負担を大幅に減らすことが出来ます。

■注意

- 教科及び教科の指導法に関する科目【必修】は特段の理由無き場合、必ず履修対象年度に履修する事！最終学年履修で成績がF等(不可等)になりますと免許状の申請が出来ません。
- カリキュラム配当はカリキュラム表で必ず確認して下さい。この表の設定学年はあくまでも目安です。バッティング等で履修登録不可の科目は次年度取得を計画し、3年次までに学年設定のある必修科目以外の教職履修科目を満たしておくようにしておいてください。最低2～4単位多く取得しておけば不測の事態に備えられます。(履修学年を指定されている科目もありますので注意) 2年次までに設定されている科目は、2年次までに履修することを勧めます。
- 英語の教員免許取得に必要な必修科目(英語科教育法)は、「英語科教育法Ⅰ」(3年前期)、「英語科教育法Ⅱ・Ⅲ」(3年後期)の順でしか履修できません。さらに、4年次の教育実習を予定している学生は、「英語科教育法Ⅳ」(4年前期)が実習時に必ず必要となります。各科目の内容はシラバスを参照すること。
- 「教育相談」は、「教育心理学」を履修してから履修となります。